

国立情報学研究所クラウド支援室より「研究教育のためのクラウド利活用セミナー」についてご案内いたします。

本セミナーは現場の研究者や教員が抱えている、研究教育活動にどのようにクラウドを活用できるのかといった疑問の解消を目的としています。

研究教育におけるクラウド利活用に関するシナリオを想定し、そのシナリオを実践するセミナーをデモも交えて開催することにより、参加者に実際にクラウドを体感して頂き、研究教育の現場におけるその利活用について検討して頂ければと考えております。

今回は研究・教育分野の方向けに、機械学習を行う際にクラウドを利活用する例をご紹介します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

受講対象者：

大学・研究機関等に所属する教員、研究者、技術者、大学院生

第6回セミナー「研究・教育分野における「Microsoft Azure」の活用と実践（機械学習/ディープラーニング編）」

開催日時：

平成28年9月26日（月） 13:30－17:00

会場：

国立情報学研究所 20F 実習室(2001AB)

<http://www.nii.ac.jp/about/access/>

概要：

(1) NII のアカデミッククラウド利活用支援(15分)

講師：合田 憲人(国立情報学研究所)

大学や研究機関におけるクラウド利活用の状況を紹介するとともに、国立情報学研究所が進めるクラウド導入・利用支援活動について報告します。

(2) 教育・研究分野のための Microsoft クラウド「Microsoft Azure」のご紹介(45分)

講師：中田 寿穂(日本マイクロソフト株式会社)

教育・研究分野における日本マイクロソフトのクラウドへの取り組みや、特に教育・研究分野の皆さまに知っていただきたい Microsoft Azure の利点や事例をご紹介します。

(3) 研究を”ちょっと”楽にする可視化+分析ツールの紹介(60分)

講師: 大田 昌幸(日本マイクロソフト株式会社)

研究中に「本質ではない部分に苦労しているなあ」とお悩みではありませんか？

本セッションでは、「データ可視化のために新しいライブラリを学習するのがしんどい」「古典的な解析アルゴリズムを実装するのに手間をかけたくない」という悩みを解決するための、Power BI, Azure Machine Learning 活用法をご紹介します。より素早く実装が進み、研究のために本質的な時間を確保できるようになります。

(4) 大学における教育研究・開発を加速するクラウド利活用の提案(60分)

講師: 濱上 知樹(横浜国立大学)

本セッションでは、機械学習を中心とした研究でのクラウド利活用のアイデアをご紹介します。また、Azure Machine Learning 上で R, Python を用いたデモも行います。

定員:

30 名

※受付は先着順です。

※応募状況により調整させていただくことがあります。

費用:

無料

応募方法:

以下の事項をメールに記載しお申し込みください。

宛先: cld-office-support@nii.ac.jp

件名: 第 6 回クラウド利活用セミナー参加申込(ご所属・お名前)

(以下、本文)

ご所属:

お名前:

メールアドレス:

申込締切:

平成 28 年 9 月 20 日(火)

※定員に達した場合、締切日前でも受付を終了します。

備考:

国立情報学研究所クラウド支援室では、今後も「研究教育のためのクラウド利活用セミナー」を継続して開催する予定です。